

第7回アライアンス若手研究交流会、第8回アライアンス技術支援シンポジウム開催報告

2019年11月12日（火）～13日（水）の2日間にかけて「第7回アライアンス若手研究交流会」および「第8回アライアンス技術支援シンポジウム」を産業科学研究所にて合同で開催しました。

合同開会式では大阪大学産業科学研究所の後藤知代助教、大西政義室長のそれぞれの開催趣旨説明の後、運営委員会委員長である大阪大学産業科学研究所の関野徹教授による開会挨拶があり、交流会・シンポジウムに分かれて講演会が開催されました



若手研究交流会では、所属や専門分野にとらわれない気軽な若手交流の場である本会の意義を改めて見直したいとの思いをこめて、「ええやん！頑張ってるで、若手！」をテーマに掲げ、特別講演を含む12件の講演と、31件のポスター発表が5附置研究所の若手研究者により行われ、2日目には講演会后、産業科学研究所の研究室見学会も開催されました。

技術支援シンポジウムでは1日目に7件の講演と15件のポスター発表が5付置研究所の技術職員により行われました。2日目には技術交流について「分析」、「工作」、「情報」の3分野に分かれて技術交流や技術支援について具体的にどのようなことが可能かどうか議論しました。



1日目のポスター発表会は両行事合同で開催され、幅広い分野の研究報告について活発な議論と、意見交換が交わされました。その後、毎年恒例の合同懇親会では、大阪大学産業科学研究所の菅沼克昭所長、朝日名誉教授からのご挨拶、同研究所の田中秀和教授より乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気の下、所属や身分に関係なく情報交換が行われました。

懇親会の最後には東北大学多元物質科学研究所の垣花真人教授が、若手研究者と技術職員が積極的に交流できる本会の意義について述べられました。両行事で約 95 名が参加し盛況のうちに二日間の日程を終了しました。次回の 2020 年度は、九州大学先導物質化学研究所の主管による福岡での開催が予定されています。

